

神根中だより

～自他共に認め合い学び合う
夢と笑顔と潤いのある学校～
令和7年7月号

学校教育目標
主体的に学び合い
心豊かで たくましい生徒



川口市立神根^{かみね}中学校

〒333-0823 埼玉県川口市石神1515-1
電話 (048) 296-7025

言葉の力

校長 寺田 和成

1学期も残すところ約3週間となりました。先月は修学旅行や期末テスト、そしてその間には3年生にとって最後の大会となる学校総合体育大会など、大きな行事が続きました。市の大会は陸上競技と水泳競技を残すのみとなりましたが、これまで練習で積み重ねてきた努力の成果と、支えてくれた人々への感謝の気持ちを力として、どの部活動も最後まであきらめずに全力で試合に臨んでいました。私も全大会会場を回らせてもらいましたが、神根中生の躍動する姿をたくさん見ることができ、本当に感動しました。いくつかの部活動を除いて、これからは2年生が中心となりますが、部活動だけではなく学校生活全般において、3年生からバトンを引継ぐ準備をし、これからの神根中学校を引っ張っていく存在になってほしいと願っています。2学期には水上自然教室もありますので、実行委員を中心にますますの成長と活躍を期待しています。

「精一杯の力で伝えている姿に感動しました」

少し前になりますが、本校の体育館にて1年生の英語スピーチコンテストが行われました。各クラスの代表者が「自己紹介」というテーマのもと、緊張しながらも堂々と発表し、また、司会の生徒の進行や聞き手側の生徒たちのリアクションもすべて英語で場を盛り上げ、とても素晴らしい時間となりました。そのとき参観してくださった保護者の方の感想にあった言葉です。

「本当に優しい生徒さんたちですね」

3年生の奈良・京都への修学旅行は、3日間天候にも恵まれ、参加生徒全員がスケジュールどおりに全行程を終了することができました。ホテル内での生活もメリハリがあり、挨拶や礼儀、食事の片付けや宿泊マナーなど、随所に見られる生徒たちのちょっとした振る舞いや心遣いを、ホテルの方々はとても嬉しく感じたようです。そんなホテルの従業員の方からの言葉です。

「ファイト!」「ナイス!」「がんばれ!」・・・

1・2年生を中心に、大会ではベンチと観客席が一体となって声援を送っていました。保護者の皆様もたくさんの応援ありがとうございました。まさにワンチーム。チームというのは試合に出ている選手だけでは成り立ちません。大会会場では、選手を、仲間を、先輩を、子供を勇気づけ、激励する声がたくさん聞こえました。そんな生徒たち、保護者の方々からの言葉です。

言葉には、人を幸せにしたり、やる気にさせたりする「力」があります。褒められたり、認められたりすると、嬉しい気持ちになりますし、応援されたり、励まされたりすると、頑張ろうという気持ちになります。人を幸せにするのは「心をつなぐ力」、人をやる気にさせるのは「心を動かす力」と言ってよいのかもしれませんが、しかし、一つの言葉で救われることがあるように、たった一言で深い傷を負ってしまうこともあります。このような使われ方は絶対にあってはなりません。言葉そのものが「心を壊す力」になってしまってはいけないのです。言葉にはとても大きな力があります。だからこそ、普段から学校でも家庭でも、大人でも子供でも、言葉の意味を深く理解し、言葉遣いを正し、言葉を大切に扱っていくことが重要なのだと感じます。

皆さんは、日頃から言葉を大切にしていますか？